

プレスリリース [令和8年4月21日14時以降]

(計 3 枚)

加賀市、移住先としての魅力が証明された 「スマウト移住アワード 2025」初の年間1位 ～移住先ランキングの頂点をつかむ！！～

株式会社カヤックが運営する移住・関係人口促進のマッチングサービス「スマウト」に登録するユーザー約9万人の2025年度に関心が高かった人気移住先として、加賀市が第1位に選ばれました（2024年度は3位）。

加賀市が発信する温泉暮らしや空き家を活用したお試し住宅、伝統工芸に触れながらまちづくりを考えるフィールドワークなどの記事が特に人気を集めています。

「スマウト」公式サイト <https://smout.jp/>



【スマウト移住アワード 2025 の選定方法】

「スマウト」に登録している約9万人のユーザー（2026年3月31日時点）を対象に、2025年度（2025年4月1日～2026年3月31日）に地域が発信した情報（プロジェクト）に対して、同期間中に押された「興味ある」ボタンの合計数を集計して作成されます。

【加賀市の状況】

「興味ある」総数	3,771 件
プロジェクト数	77 件
「興味ある」平均数	49 件

2024 年度	3 位（興味ある数：1,608 件）
2023 年度	11 位（興味ある数：635 件）
2022 年度	20 位（興味ある数：455 件）
2021 年度	26 位（興味ある数：479 件）

【当市への評価】

・温泉街での暮らしを学ぶ「工芸と観光」をテーマにしたフィールドワークが大人気。空き店舗を改装した図書館での店番体験や、水引細工のワークショップを通して、地域住民に溶け込みながら暮らしを体験できる。

・山・海・温泉が揃う加賀市で、最大3泊4日の無料お試し住宅に滞在しながら「空き家」の活用を構想するプログラムに注目。空き家を住まいや事業拠点としての「宝」と捉えて、自分らしい利活用を探れる点が多く共感を集めた。

・伝統建築と一般住宅が混在する城下町「大聖寺」を舞台に、九谷焼の美術館や茶・工芸文化に触れながら「まちづくり」を考えるフィールドワークに熱視線。美術館が身近にある加賀市ならではの切り口が注目を集めた。

【人気プロジェクト】

- ・温泉地の空き店舗を活用した「図書館」でお店番&観光アイデアを考えるフィールドワーク。
- ・空き家を「宝」に。最大3泊4日の移住体験で、温泉地に眠る資源を発掘。
- ・【募集】茶×工芸×美術館が育む、まちづくりと地域文化を学ぶフィールドワーク

【スマウト概要】

「スマウト」は地域とつながりたい人と、地域の人とをマッチングするスカウト型のWebサービスです。2018年6月のサービス開始以来、登録自治体数1,186地域、約9万人の登録ユーザーに増加しました（2026年3月31日時点）。

・「移住」や「地域」に興味のあるユーザーができること

地域に興味のある人は、主に2つの機能で地域を知り、つながることができます。1つ目は「プロジェクト」。プロジェクトは、「求人」「暮らし」「空き家」「体験」など、地域のオリジナリティーあふれる切り口で、自治体などの地域が企画・制作し、発信していく情報です。プロジェクトでは、地域おこし協力隊の募集や、お試し住宅、現地ツアーの参加募集、地元の人や移住した先輩とオンラインでお話しする機会の提供までさまざまです。2つ目は「スカウト」です。自分のプロフィールを「スマウト」に登録しておくことで、興味のある地域からスカウトが届き、地域の人と直接メッセージのやりとりができるようになります。

このようにスマウトは、働き方や暮らし方が大きく変化している昨今において「好きに暮らそう。好きな場所で。好きな時に。」を掲げ、地域とのあたらしい関わり方を提案してまいります。都市と地域、地域と地域を行き来する暮らし方、地域で複数のナリワイ（生業）をもつ、自分らしい働き方、人との出会いを目的に、第二のふるさとをつくる旅を創造しています。地域とつながることで、人生はもっと豊かになる。価値観が変化する節目に、地域という選択肢を提案し、地域の人とつながるきっかけをお届けしています。

本件へのお問合せ先
加賀市総務部企画課 担当：森垣・畑 TEL 0761-72-7840